

市議会だより

# はまだ

Vol.28

平成25年(2013年)2月1日発行



高校生が地元の食材を使ったオリジナル料理を発表した「地食甲子園 in はまだ」

参加8校 隠岐水産高校、出雲商業高校、邇摩高校、浜田水産高校、浜田商業高校、浜田高校、  
石川県立野々市明倫高校、広島県立油木高校

## 12月定例会 めだま記事

主な議案等の賛否を公開

4P

重要案件の意見交換会を開催します

5P

浜田市議会議員定数24名に決定

8～11P

平成24年12月浜田市議会定例会が11月30日に召集され、12月18日までの19日間の会期で開かれました。

提出された議案は47件、請願3件で、各委員会等での審査の様子は2ページから5ページに掲載しています。

平成23年度浜田市歳入歳出決算14件を認定しました。

また、個人一般質問には19人が立ちました。一般質問については、12ページより掲載しています。

なお、「浜田市議会の議員の定数を定める条例」の一部改正については、8ページから11ページまでの4ページで、賛否を含め詳細を載せていますので、ご覧ください。

福祉環境委員会に付託された、議案5件請願3件について審査を行いました。

## ラ・ペアーレ浜田の 指定管理に質疑集中

### － 福祉環境委員会 －



**指定管理者の指定について（ラ・ペアーレ浜田）**  
委員から、選定委員がこの施設を実際に見に行っているのか、また優劣の判定の内容について審査の詳細な説明を求めました。  
執行部からは、選定委員は市民から選ばれた方であり、自覚を持って公平な判断、評価を行っている。いろんな角度から見聞されていると推測するという答弁でした。また、選定委員会の開催は事前にお知らせしているので、責任を持って評価されている。優劣の判定内容については、項目ごとに1位の評価だけの人数、つまり1番得点の高かった項目が示されることから、選定委員によって評価のある施設と、ない施設があるという答弁でした。



▲ラ・ペアーレ浜田

複数の委員からは選定に当たって、これまで指定管理をしている事業体に対して、優位性を持たせることはできないのかといった質問がありました。これについて執行部は、公募にして評価項目の中に数字的によほどの程度の優位性を持たせるのは困難であり、公募が指名かという時点での判断ではないかという答弁があり、現在の選定項目の中で言えば、優位性が加味されるのは総合という評価項目である。という答弁でした。

他の委員からは、公募による選定結果で、事業体と行政の信頼関係が損なわれる可能性が生まれることを危惧、市民が雇用に怯える環境を浜田市が作っているという意見も出されました。

委員からは選定委員の良識のある選定結果を謙虚に受け止めるべきで、

提案の内容も新しい、期待できるものであるという意見や前回の選定にあたって、次回は公募にすべきという議会側の意見もあったことから、今回の結果は深く受け止めるべきという意見もありました。

多くの質疑を経て、審査を行い、採決の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

県に乳幼児等医療費助成制度拡大を求める意見書の提出に関する請願について、介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める意見書の提出に関する請願については、委員の意見を求めながら採決の結果、介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める意見書の提出に関する請願については賛成多数、他の請願2件は、全会一致で採択とすべきものと決しました。



## 公民館休館日を統一

### — 総務文教委員会 —

総務文教委員会に付託された議案17件について審査を行いました。

このうち、「浜田市立公民館条例の一部を改正する条例について」は、原則、日曜日を休館日とする変更により、利用者に不都合はないのか、などの質疑がありました。

執行部からは、実態調査の結果により休館とするが、日曜日の利用について



▲周布公民館

は臨機応変に対応したいとの答弁がありました。

執行部からは、実態調査の結果により休館とするが、日曜日の利用については臨機応変に対応したいとの答弁がありました。

「金城総合運動公園の指定管理者の指定について」は、委託先の共同事業体の構成の意味合いや、指定管理料の減額の理由などの質疑がありました。

執行部からは施設の管理と事業の推進という分担を組み、進められている。減額については、3年間の実績にもとづき、利用料収入と必要経費を精査したうえで、指定管理料の設定である、との答弁がありました。

また、「三隅B&G海洋センターの指定管理者の指定について」は、選定方法を指名とした理由や、これまでの運営実績等の質疑がありました。

執行部からは理由について、委託先が海洋スポーツ施設の管理運営上必要となる高度な専門的技術を有する職員を有していること、アクアみすみと一

体管理しているためである。運営実績については、カヌーやシーカヤックの体験教室などの事業を展開しているとの答弁がありました。

それぞれ採決の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

## 指定管理者の選考を慎重に

### — 産業建設委員会 —

産業建設委員会に付託された議案8件について審査を行いました。

まず、「浜田市手数料条例の一部を改正する条例について」ですが、委員から適合証のある、なしによる手数料の違いについて質疑がありました。執行部からは、都市の低炭素化の促進に関する法律の施行に伴い申請手数料の改正を行うもので、適合証がある

場合、外部機関で事前審査を受けているため、浜田市では事務的審査をするのみであるから手数料が安くなるとの答弁がありました。

次に「浜田市国民宿舍千畳苑の指定管理者の指定について」ですが、委員からは指定管理者納付金を社会経済情勢の推移をつかみながら良く考えた上で予算計上すべきではないかとの質疑がありました。執行部からは今後、経済状況を見極め検討していくとの答弁がありました。

また、指定管理者の選定で、詳細資料の提出を求める意見が出され、休憩を挟み提出資料の説明を受けました。委員からは実績をカウントする優先度についての指標が必要である。また、選定委員が現場の声



▲国民宿舍千畳苑

を聞けるような体制づくりを検討すべきである。また、公募方法の検討を要す、などの意見が出されました。

付託を受けた議案8件について、採決の結果、全会一致で、可決すべきものと決しました。

## 電気自動車充電器をお魚センターに設置

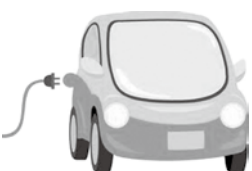
### — 予算審査委員会 —

予算審査委員会に付託された議案3件について審査を行いました。

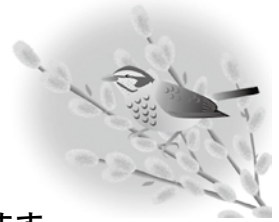
一般会計補正予算では電気自動車急速充電器設置事業で、設置場所をお魚センターにした理由、同様の寄贈があった場合の対応、料金徴収をすべきではないか、などの質疑があり、執行部からは候補地は5カ所あったが道の駅は国土交通省が難色を示した

ことや、すでにある充電器の立地バランス等を考え、お魚センターに決定した。同様の寄贈があった場合、設置場所と協議する、料金徴収については、民業圧迫にならないよう検討していくと答弁がありました。次に、国民宿舍事業特別会計補正予算では、今後同様の申し出があった場合、また減額するのか、また契約解除の条文の見直しはあるのかなどの質疑があり、執行部からは、経済情勢などを勘案して協議はするが原則として減額しない。条文については新たな協定書では見直しを図っている。などと答弁がありました。

採決の結果、浜田市一般会計補正予算から浜田市後期高齢者医療特別会計補正予算までの議案3件すべて全会一致で可決すべきものと決しました。



# 平成24年12月定例会での 主な議案等の賛否の公開について



浜田市議会では平成24年12月定例会から、本会議、委員会での賛否の公開をします。  
詳細については市議会HPをご覧ください。

|         |                                                                                                                                                                        |          |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 承認第3号   | 専決処分の承認について（平成24年度浜田市一般会計補正予算第3号）                                                                                                                                      | 賛成26 反対0 |
| 議案第80号  | 浜田市水力発電施設周辺地域集会所条例の一部を改正する条例について                                                                                                                                       | 賛成25 反対0 |
| 議案第81号  | 浜田市特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例について                                                                                                                                           | 賛成26 反対0 |
| 議案第82号  | 浜田市職員の給与の支給に関する条例等の一部を改正する条例について                                                                                                                                       | 賛成25 反対0 |
| 議案第83号  | 浜田市手数料条例の一部を改正する条例について                                                                                                                                                 | 賛成25 反対0 |
| 議案第84号  | 浜田市有料駐車場条例の一部を改正する条例について                                                                                                                                               | 賛成25 反対0 |
| 議案第85号  | 浜田市教職員住宅条例の一部を改正する条例について                                                                                                                                               | 賛成25 反対0 |
| 議案第86号  | 浜田市立公民館条例の一部を改正する条例について                                                                                                                                                | 賛成25 反対0 |
| 議案第87号  | 浜田市国民健康保険条例の一部を改正する条例について                                                                                                                                              | 賛成25 反対0 |
| 議案第88号  | 浜田市廃棄物の処理及び清掃等に関する条例の一部を改正する条例について                                                                                                                                     | 賛成25 反対0 |
| 議案第89号  | 浜田市地域集会所施設等条例の一部を改正する条例について                                                                                                                                            | 賛成25 反対0 |
| 議案第90号  | 浜田市温泉事業条例の一部を改正する条例について                                                                                                                                                | 賛成25 反対0 |
| 議案第91号  | 浜田市水道事業の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の制定について                                                                                                                 | 賛成25 反対0 |
| 議案第92号  | 指定管理者の指定について（浜田市金城総合運動公園）                                                                                                                                              | 賛成25 反対0 |
| 議案第93号  | 指定管理者の指定について（浜田市今福スポーツ広場施設）                                                                                                                                            | 賛成25 反対0 |
| 議案第94号  | 指定管理者の指定について（浜田市三隅B & G海洋センター）                                                                                                                                         | 賛成25 反対0 |
| 議案第95号  | 指定管理者の指定について（ラ・ペアーレ浜田）<br>反対 牛尾 昭議員 理由 指定管理者制度が不備で現管理者の評価がされていない                                                                                                       | 賛成24 反対1 |
| 議案第96号  | 指定管理者の指定について（浜田市やさかやすらぎの家）                                                                                                                                             | 賛成25 反対0 |
| 議案第97号  | 指定管理者の指定について（浜田市かなぎウェスタンライディングパーク）                                                                                                                                     | 賛成25 反対0 |
| 議案第98号  | 指定管理者の指定について（浜田市波佐地場産業技術研修センター）                                                                                                                                        | 賛成25 反対0 |
| 議案第99号  | 指定管理者の指定について（浜田市国民宿舎千畳苑）                                                                                                                                               | 賛成25 反対0 |
| 議案第100号 | 指定管理者の指定について（浜田市三隅中央公園及び田の浦公園運動施設）                                                                                                                                     | 賛成25 反対0 |
| 議案第101号 | 指定管理者の指定について（浜田市岡見スポーツセンター）                                                                                                                                            | 賛成25 反対0 |
| 議案第102号 | 財産の無償譲渡について（三隅町中古和集会所）                                                                                                                                                 | 賛成25 反対0 |
| 議案第103号 | 財産の無償譲渡について（畑地区多目的集会所）                                                                                                                                                 | 賛成25 反対0 |
| 議案第104号 | 財産の無償譲渡について（青尾集会所）                                                                                                                                                     | 賛成25 反対0 |
| 議案第105号 | 事業委託契約の締結について（消防救急無線デジタル化整備事業（共通波））                                                                                                                                    | 賛成25 反対0 |
| 議案第106号 | 市道路線の認定について（松原2号線）                                                                                                                                                     | 賛成25 反対0 |
| 議案第107号 | 浜田地区広域行政組合規約の変更について                                                                                                                                                    | 賛成25 反対0 |
| 議案第108号 | 浜田地区広域行政組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分について                                                                                                                                      | 賛成25 反対0 |
| 議案第109号 | 市木辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について                                                                                                                                             | 賛成25 反対0 |
| 議案第110号 | 弥畝辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について                                                                                                                                             | 賛成25 反対0 |
| 議案第111号 | 平成24年度浜田市一般会計補正予算（第4号）                                                                                                                                                 | 賛成25 反対0 |
| 議案第112号 | 平成24年度浜田市国民宿舎事業特別会計補正予算（第1号）                                                                                                                                           | 賛成25 反対0 |
| 議案第113号 | 平成24年度浜田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）                                                                                                                                          | 賛成25 反対0 |
| 請願第21号  | 県に乳幼児等医療費助成制度拡大を求める意見書の提出について<br>反対 平石 誠議員 理由 趣旨については賛成だが、予算手当の考え方が無い無責任な意見書の提出には反対                                                                                    | 賛成24 反対1 |
| 請願第22号  | 介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める意見書の提出について<br>反対 平石 誠議員 理由 趣旨については賛成だが、予算手当の考え方が無い無責任な意見書の提出には反対<br>反対 山田義喜議員 理由 加算の対象職員を介護職員以外の職種にも拡大することは財源確保の問題と他の業態への影響が懸念されるので反対。介護崩壊の表現が不適切。 | 賛成23 反対2 |
| 請願第23号  | 安全・安心の医療・介護実現のための看護師等の夜勤改善・大幅増員を求める意見書の提出について<br>反対 平石 誠議員 理由 趣旨については賛成だが、予算手当の考え方が無い無責任な意見書の提出には反対                                                                    | 賛成24 反対1 |

※賛否の合計が異なるのは、会期中、疾病により議員が欠席したためです。

## 請願・陳情の審査結果および結果 —平成24年12月定例会審査分—

| 区分 | 請願・陳情の内容                                      | 提 出 者                         | 審査した委員会<br>および結果・経過等 |
|----|-----------------------------------------------|-------------------------------|----------------------|
| 請願 | 県に乳幼児等医療費助成制度拡大を求める意見書の提出について                 | 島根県保険医協会<br>会長 吉岡 繁治 様        | (福祉環境委員会)<br>採 択     |
| 請願 | 介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める意見書の提出について                | 島根県医療労働組合連合会<br>執行委員長 佐野みどり 様 | (福祉環境委員会)<br>採 択     |
| 請願 | 安全・安心の医療・介護実現のための看護師等の夜勤改善・大幅増員を求める意見書の提出について | 島根県医療労働組合連合会<br>執行委員長 佐野みどり 様 | (福祉環境委員会)<br>採 択     |

## 重要案件の意見交換会を開催します

重要案件の意見交換会は、市民の皆さんと議員が下記のテーマについて自由に情報や意見の交換を行い、その結果を議会としての政策提言・政策立案へつなげていこうというものです。この意見交換会は、議会側から市民の皆さんに意見交換会の開催をお願いする場合と、市民の皆さんからの申し込みによる場合と大きく二つの方法があります。意見交換を希望される団体はぜひお申し込みください。

◎申し込み 申込書が議会事務局にありますので、必要事項を記載の上、開催希望日の30日前までに申し込みをしてください。

◎対 象 市内に所在する団体（10人以上で構成される団体に限る。）

\* 公共的団体やNPO、企業、任意団体などで、実際に活動を行う団体

詳細については、市議会ホームページにも掲載しています。

また、お気軽に議会事務局（TEL25-9800）へお問い合わせください。

申込書は議会事務局に備えているほか、市議会ホームページからもダウンロードできます。

### 意見交換会でのテーマ

- 自治区制度、まちづくり施策について
- 公共施設のあり方について
- 教育問題について
- 上下水道問題について
- 火葬場整備計画について
- 中山間地対策について
- 浜田商漁港の振興について







平成24年12月定例会で

# 可決された主な事業

## 電気自動車充電器設置!

“環境にやさしい電気自動車の普及を目指す”

— 寄贈を受ける電気自動車急速充電器を  
しまねお魚センターに設置 —

○事業費 317万9千円  
(うち浜田市負担分 317万9千円)

・ 24時間使用可能、充電80%の所要時間30分

## 不活化ポリオワクチン!

### 予防接種事業

— 平成24年9月より、生ポリオワクチンに  
代えて導入されたことに伴う調整 —

○事業費 2,909万4千円  
(うち浜田市負担分2,909万4千円)

・ 対象者：不活化 ポリオワクチン 777人  
4種混合ワクチン 179人

## ライディングパーク25年度・再オープン!

— ライディングパーク整備事業 —

○事業費 2,228万8千円  
<地域振興基金(金城)>

・ 清掃 115万5千円

・ 修繕工事 1,338万1千円

・ 備品購入 775万2千円

\* 予備費対応(管理事業)

・ 乗用馬6頭の更新に係る経費 480万円

## 農地保全モデル事業の

### 分担金の一部を補助!

— 旭町坂本集落に対し、水路改良(パイプライン  
化)工事の分担金から事業費の5/100を除いた  
額の助成を行う! —

○全体事業費 1,440万円

○事業費 360万円  
<地域振興基金(旭)360万円>

・ 分担金 432万円(事業費の30%)

・ 補助額  $432万円 - (1,440 \times 5/100) = 360万円$

## 可決された意見書を関係の機関へ提出

近年の異常気象による局地豪雨や、東日本大震災による被災の経験から、市民が安全・安心に生活し社会活動を継続するためには、道路や砂防など減災・防災に資する社会資本の整備が必要不可欠であることが再認識されています。また、災害に迅速に対応するためにも、国の機関と地方が連携を深め危機管理体制を構築しておく重要性も明らかとなりました。

浜田市は過去に幾度となく豪雨災害に見舞われており、災害に強いまちづくりの柱として高規格道路ネットワークの構築が大きな課題となっています。

しかしながら、国の公共事業予算は、平成21年度からの3年間で2.5兆円(35%)もの削減がされており、さらなる削減は、過疎化と少子高齢化が進む地方を疲弊させ、地域間格差の拡大に拍車をかけることとなります。

そこで「地方における社会資本整備の促進を求める意見書」を全会一致で可決し、関係機関へ提出しました。

また、県に乳幼児等医療費助成制度の拡大を求める請願、介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める請願と安全・安心の医療・介護実現のための看護師等の夜勤改善・大幅増員を求める請願がともに採択されました。これに伴い、日程追加後に福祉環境委員長から各意見書案が提出され、それぞれ賛成多数で可決し、各関係機関へ意見書を提出しました。





# 被災地の復興と 災害に備えて

さる11月3日に、浜田漁港で開催された第20回B大鍋フェスティバルにおいて、職員・議員が連携し、気仙沼の特産品の販売を行いました。

風評被害に苦しむ気仙沼の特産品をイベントの場で説明、販売することで、少しでも被災地の皆さんのお役に立てばとの思いからですが、当日は、多くの市民の皆さんがブースに立ち寄っていただき、熱心に展示パネルをご覧いただきました。特産品もまたたく間に完売となり、あらためて浜田市民のやさしさと心意気を感じました。お礼申し上げます。

また、11月4日には大規模地震に伴う津波などから身を守る島根県の総合防災訓練が、三隅町岡見の三隅港臨海工業団地において開催され、我々浜田市議会議員も参加いたしました。

島根県、県警、消防、第8管区海上保安本部のほか、岡見小学校の児童、教職員や地域住民など約800人が参加し、午前9時に市沖合の断層を震



源としたマグニチュード7.3の地震が発生し、10分後に約3メートルの津波が市沿岸部に到達したと想定した訓練でした。

児童らは、警察官や近隣住民の誘導で、海を見下ろす高台まで駆け上がり、また、ヘリコプターや巡視船を出動させ、津波にさらわれて海上に漂流した被災者をヘリコプターでつり上げて救出する訓練を行いました。

このほか、会場では倒壊建物からの被災者救出、市民による火災の初期消火などの訓練もありました。

広範囲の災害では国と県、各市町村の連携が重要であり、今後もさらなる連携強化が必要です。

## 知ってナッ得！

### 議会・委員会の傍聴をしたいけど、どうすればよいの？

浜田市議会では、市民に開かれた議会の実現のため、本会議、委員会での議論の内容を原則全て公開しており、誰でも傍聴ができます。

議会ホームページ等で会議予定、協議事項を確認し、本会議、委員会の傍聴を希望される方は、市役所5階の議会事務局（エレベータを出て右側）で傍聴手続きを済ませてから傍聴してください。

**傍聴手続きは、傍聴受付票に住所、氏名等を記載するのみです。団体の場合は団体名と傍聴人数の記載でOKです。**

市の重要事項から身近な問題まで、本会議場での執行部との真剣な議論のやりとりや、委員会での専門的な質疑など、ぜひ傍聴ください。

なお、傍聴にあたり、何点かお守りいただく事項がございますが、議会ホームページ等でご確認をお願いいたします。



傍聴席から見た本会議場

# 浜田市議会議員定数24名に決定!

(次期浜田市議会議員選挙時より適用)



浜田市議会では、12月定例会において、議員定数を現在の28人から24人にする「浜田市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例」を賛成多数で可決しました。この条例は本年10月に予定されている市議会議員選挙から適用され、改選後の議員数は24人になります。

これまでも、特別委員会委員長の間接報告や市民アンケートの状況などをお知らせしてきましたが、議員定数についての結果が出たことを受け、今号では、12月議会で行われた特別委員会委員長報告、提案説明、賛成・反対の討論及び表決の結果（賛成・反対の議員名）といった審議状況をお知らせし、市民の皆さんのご理解をいただきたいと思います。



## 議員定数等議会改革推進 特別委員会委員長報告

次期改選時における議員定数に関しては、さる11月9日の全員協議会でそれまでの検討状況を報告しました。

その後の特別委員会の動向を報告します。10月11日に第17回の委員会を開催し具体的な協議に入りました。まずはそれまでに確認した「全市1区、28名以下、削減ありきではなく委員会に必要な人数の積み上げ」という三つの事項を踏まえつつ、8月に実施した市民アンケートの集計結果も加味し精力的に協議を行いました。具体的には、その時点で各会派の考える定数とその理由を聴取したところ、22名、24名、25名、26名、28名という5案となったところです。

ちなみに22名に関しては、市民アンケートにおいて、望ましい定数のベスト3が20名、22名、18名であった結果を踏まえ、人口5万人から7万人の自治体の平均定数が21・9名というデータや委員会で議論するには1委員会7名は必要で、7名×

3委員会に議長を加えた22名とのことでした。

また24名に関しては、議会の監視機能の維持や広範囲にわたる住民の声を吸い上げるため、新人が立候補しやすくなるためには一定数が必要であり、浜田市と人口、面積が近い13の自治体の平均定数が25・1名という数値もある。

市民アンケートの重さ、定数は偶数が望ましいとの視点から1委員会8名×3委員会24名としている。また28名に関しては、市民と市政を繋ぐパイプ役としての議員数の削減は反対とするもので、自治区にも配慮し1委員会9名×3委員会に議長を加え現状定数を主張するものです。

第18回委員会では、協議の結果22名、24名、25名の3案に絞り、第19回委員会22名、24名の2案に絞り込み、次回さらに協議を行い一本化に向け議論することを確認しました。

第20回委員会では、委員会報告として、あくまでも

議論を重ね一本化を目指すやむを得ない場合は多数決を採用するか、両論併記を行うかの議論を行ったところです。

第22回委員会では、多数決により一本化を図ることで決着。最終的に多数決により22名を支持する委員が2名、24名を支持する委員が6名、棄権1名で、次期改選時ににおける議員定数を28名から24名とする条例改正案を特別委員会として提案することと決しました。

### 賛成委員

布施賢司  
佐々木豊治  
新田勝己  
牛尾 昭  
高見庄平  
美浦美樹

### 反対委員

平石 誠  
江角敏和

### 棄権

西村 健委員





#### 発議第7号

浜田市議会の議員の定数を定める条例の一部改正について（28名→24名）

この議案は議員定数等議会改革推進特別委員会の発議により、「浜田市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例」を提案するものです。

具体的には、条例の本則中にある「28人」を「24人」に改めるものです。またこの定数を定める条例は公布の日から施行し、条例の規定は来年の次期改選選挙から適用されるものです。

### 発議第7号 浜田市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例

（議員定数を28名から24名にする条例）記名投票を行いました。

#### 賛成議員 15票

布施賢司、岡本正友、芦谷英夫、佐々木豊治、道下文男、三浦保法、新田勝己、三浦美穂、山崎 晃、山田義喜、田村友行、牛尾博美、牛尾 昭、中村建二、高見庄平

#### 反対議員 11票

##### ・現状維持

田畑敬二、西村 健、美浦美樹

##### ・22名が望ましい

笹田 卓、平石 誠、西田清久、三浦一雄、大谷弘幸、川神裕司、江角敏和、原田義則



※反対者の反対理由については、議会HPに掲載しておりますので、詳細につきましては、議会HPをご覧ください。

#### 発議第8号

浜田市議会の議員の定数を定める条例の一部改正について（28名→22名）

改正する条例は、現在の議員定数28人を22人に改めるものです。

この提案に至った経緯につきましては、1点目として平成23年12月31日現在の人口は5万人以上7万人未満の全国150自治体の議員定数の平均が21・9名であり財政的にも厳しい当市としては、全国平均がそれ以下が適当と判断いたしました。

2点目に次の新定数の採用は平成25年10月の改選であり人口はさらに減少する事が推測される。

3点目に市民アンケートの実施により市民の望む定数の上位は、浜田自治区で20、22、18名、また旧那賀郡においては22名はトップであり22名はその上位の3つの中に入っており一定の民意は反映されている。

4点目に浜田市議会の一般質問者数、議案質疑、当初予算の審査に加わっ



た議員数等の平均実績は24名に届いていない。

5点目に議長除く常任委員会（3常任委員会×7名＋議長）から検討してきた事もあり22名が適当である。

6点目に広大な面積を有するので、議員を減らすべきではないという考えもあるが、今後さらなる議会改革をしていく新しい浜田市議会議員としての覚悟の意味も込めた。以上のことから議員定数22名が望ましいと判断したところである。

### 発議第8号 浜田市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例

（議員定数を28名から22名にする条例）

発議第8号 浜田市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例（議員定数を28名から22名にする条例）は発議第7号 浜田市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例（議員定数を28名から24名にする条例）が先に可決されたため、「一事不再議」の原則（同一会期中に一度議決された事件については、再び審議しない）により採決されませんでした。

## 反対討論

笹田 卓 議員

委員会提案(定数24)に  
対して、反対の意見表明  
を致します。

今回の定数に関しては、  
現在の定数からどの程度  
削減するかという視点で  
はなく、構成する常任委  
員会の委員が何人必要か、  
何人いれば活発な議論が  
行えるかをベースとし、  
その数に常任委員会の数  
である3を掛けたものを  
基本とし、議長を別枠で  
ひとつ、加えるというこ  
とです。

委員会提案の24名では、  
委員会構成人数が8名で、  
議長がその中に入ること  
になります。このことは、  
「議長は公正な議会運営  
の立場から、常任委員会  
に選任されたのち、辞任  
することを可とする」と  
いう、浜田市議会の申し  
合わせにしたがって、議  
長が常任委員会の委員を  
辞任してきた、これまで  
の事実を否定することに  
なるのではないでしょう  
か？

3年間の浜田市議会の

一般質問、議案質疑、当  
初予算の審査に加わった  
議員数の平均は、24名に  
届いていませんし、また  
全国で6万人程度の類似  
自治体の平均定数は約21・  
9名です。財政的に厳しい  
浜田市としては全国平  
均値より下回るのが当然  
ではないでしょうか？



特別委員会で集計し  
ました議員定数等に関  
する市民アンケートは  
3118通の回答があり、  
回収率10%を超えるもの  
で統計学的に見ても間違  
いなく、民意の反映がな  
されています。この市  
民アンケートにおける議  
員定数ベスト3は、1番

目に20名(アンケート数  
1301名)、2番目に22  
名(アンケート数883  
名)、3番目に18名(アン  
ケート数567名)です。  
しかし、提案された24名  
の支持はたったの157  
名です。よって、市民ア  
ンケートの上位3つの数  
字のいずれかを議会は選  
択すべきではないでしょ  
うか？

昨年9月浜田市議会の  
総意で制定した議会基本  
条例第21条には、「議会は、  
市民に対し、積極的な情  
報を公開し、説明責任を  
果たすものとする」とあり  
ますが、本提案24名では、  
市民に納得してもらえない  
ような説明責任を果たす  
ことは到底できません。

私は個々の議員のさら  
なる努力、議会報告会の  
活用等で、市民とのパイ  
プの数は少なくとも、パ  
イプを太いものにしていく  
ことによって、必ず市  
民の皆さんの声は十分に  
吸い上げることができ  
るものと確信しています。

以上のことから、本議  
案に対して、反対表明を  
致します。

## 賛成討論

岡本正友 議員

次期改選時における議  
員定数の委員長報告は、  
24名であります。

議会の監視機能の維持  
や広い浜田圏域のなかで、  
住民の声を聞くために、  
また、新人の議員が出や  
すい状況をつくるため  
にも、一定程度の定数が必  
要であると考えています。

先般、自治区や地域に  
出向いて、議会報告会を  
行い、そのなかで、自治  
区制度がなくなる事の不安や、自治区長や地元選  
出の議員がいなくなる事  
によって、地域の要望や  
意見が、反映されない  
とした懸念など、今後の地  
域コミュニティを維持し  
ていくための自治区制度  
のあり方について強い関  
心がありました。今現在、  
平成27年度の最終年度に  
向かって、自治区制度の  
検証が進められようとし  
ています。次期改選時ま  
でに、自治区制度の是非  
など具体的に住民の意見  
をまとめ、一定方向の結  
論を得るには、非常に難

しい状況があります。  
その結論が出る前に、  
急激な定数削減は、地域  
の意見を反映する議員が  
いない地域を作り出す可  
能性と、チェック機能を  
もつ議会において大きな  
弊害を及ぼす状況を生み  
出すものと考えています。  
しかし、市民アンケー



議員定数の削減について  
は、自治区の状況や意見  
を踏まえながら、次期改  
選議会の新議員によって、  
自治区制度の改革を図り  
ながら、段階的に改革し  
ていくべきであると考え  
ます。

その考えから24と言っ  
た数字が妥当であると思っ  
ています。

私たち議員は、襟を正  
して、市民の皆さんに活動  
内容を知っていただき、都  
市間の競争の中で努力すべ  
きであると考えています。

最後に、このたびの議  
員定数の検討にあたり、  
私自身市民の方々から付  
託を受けた議員として、  
未来の浜田市が住みやす  
いまちとして、発展して  
いくために、市民皆さん  
の意見を十分に議会に反  
映させなければならな  
いと改めて考えさせられま  
した。

以上、発議第7号に対  
しての賛成討論とさせて  
いただきます。

トの意見は、非常に重  
たいものと考えます。  
望ましい定数が示され  
た状況を真摯に受け止め  
ながら、最終的にはその  
示された定数の実現を図  
るべきであると思ってい  
ます。

人口減少が急速に進ん  
でいる地域もあるなかで、





## 反対討論

田畑敬二 議員

平成17年10月1日に、浜田市、金城町、旭町、弥栄村、三隅町が合併し、新浜田市が誕生しました。新浜田市は、地域の個性を生かしたまちづくりをするために、また、中山間地域がさびれないようにと、言うことで、自治区制度を設け、新市まちづくり計画に沿って、まちづくりがなされていきます。

自治区制度も、おおむね10年とする経過のなかで、28年4月以降の用途が立っておりません。職員の定数削減に伴う、機構改革により、各支所の20名体制が実施されようとしています。また、公民館を核としたまちづくり委員会や昨年からのスタートしたまちづくり総合交付金制度が、いまだに定着していない現状、だからこそ執行部、議会、市民と協働のまちづくりが重要なのではないのでしょうか。

浜田市においては、高齢化比率30%を超える現状、さらに増大していく傾

向の中で、小規模・高齢化集落、市街地の空洞化した地域の声を、市政に届けるのは、住民代表の議員しかいません。

この発議を、是とするならば、議員が存在しない自治区が発生する可能性があります。

合併後、浜田市は県下



2番目の広範な面積になりました。市内全域の隅から隅まで、住民の民意を反映するならば、議員定数24人は、あまりにも無謀であると考えます。

定数削減は、市民と市政を結び、パイプ役として、議会の重要な役割と機能の弱体化につながるのです。

はないでしょうか。

議員定数削減は、議会の、重要な役割である、市政のチェック機能や、監視機能、政策の提案を弱めることになりませんか。

そして、市民の負担増や、市民サービスの後退を招く、予算の成立や、執行を許すことになり、結果的に予算の節減に逆行する事態になりませんか。

議員定数を4人削減しようとする今回の特別委員会の結論について、私は理解に至らず、地域住民の声を市政に反映すべく、議員の職責を思うとき、あくまでも主役は市民一人ひとりであります。議員定数が24人となれば、犠牲者は、市長でもなく、議員でもなく、多くの高齢者をはじめとした、市民の皆さまであります。

いま述べた状況の中、定数削減は、議会の機能を弱め、市民のだれひとりの利益にならないと言つことを申し上げて、発議7号に、反対の立場を表明し、議員各位のご理解をお願いしまして、私の反対討論とします。

## 反対討論

西村 健 議員

浜田市議会が行った市民アンケートでは、「議会活動をどう思うか」という設問に対し「大いに評価する」「ある程度評価する」が1298人、「あまり評価しない」「まったく評価しない」が1695人と、評価しない方が多かった。

一方、「あなたの意見や市民の声が議会に反映されているか」という設問では、「思う」「少し思う」の1481人に対し「思わない」が1632人という結果となり、市民の声がどれだけ議会に反映されているかの判断が議会の評価に直結していることが示された。

地方議会には①執行機関の監視②政策立案③住民の意思を代表する機能があるといわれている。先ほどのアンケート結果は、議員や議会が住民の意思を行政に届けるパイプ役を十分に果たしていないことを示すものであり、この声にこそ議員はこたえなければならない。

市民の多様な意見や要求を反映し、住民の意思を代表する機能を果たすために必要なのは、議員の資質向上や議会改革をいっそう推進することであり、議員定数を削減することではない。議員を減らしても何の解決にもならず、むしろ住民と行



特別委員会では他市との比較や全国の平均値、市民アンケートの結果にもとづく意見、常任委員会の委員数の積み上げによる意見、質問・質疑の回数をもとに意見などが出されたが、いずれも「なぜ削減が必要なのか」という私の疑問にこたえるものではなかった。

他市の状況や全国の平均値は適切な定数の論拠としては弱く、参考にとどめるべきものであり、削減したことの検証結果もわれわれは把握していない。常任委員会の委員数の積み上げは一定の論拠にはなるが、議会活動は、常任委員会がすべてではない。議員が減れば質問・質疑の絶対数が減ることは必然である。

以上、議員定数の削減は民意の削減に直結することを重ねて指摘し、反対討論とする。

政をつなぐパイプを細くするだけである。

私が他の議員の思いを代弁することはできず、他の議員が私の代わりを務めることもできない。市民の声を行政に届ける貴重な議員を議員自らが減らして、一体何が得られるというのか。





## 外国市民と共に暮らす

### まちづくりの施策は？



岡本 正友 議員

**答** 地域との交流づくりに関係機関連携し取組!!

**質問** 外国人とのトラブルを聞く。共に暮らす市民と協働のまちづくりの実現の施策が必要であると考えるが所見を問う。

**答** 外国人と市民が共に安心して暮らせるまちづくりの必要性を認識している。異文化交流や生活支援など生活ガイドマップ作成のほか説明に取組んでいる。

**質問** さらに外国人が安心して暮らすことのできるため、平常時から顔が見える外国人と地域との関係づくりと、災害時などの対応も必要であると考えるが所見を問う。

**答** 自治会で「異文化交流サロン」の開催や防災訓練の参加要請等、地域との関係づくりのために、双方が接点を持つ、きっかけづくりが、必要と考える。関係機関連携

して取組む。

**質問** 育児と共に親としても成長させるために、幼保小中高の切れ目のない連続的で一貫性のある親学への推進を図るべきと考えるが、所見を問う。

**答** 家庭教育を通じて保護者も子どもと共に成長していけるように、切れ目のない支援を教育委員会、関係機関、団体等と連携し推進していく。

**その他の質問** ○出生率を上げるための就業環境整備について

○出生率を上げるための就業環境整備について



## リハビリ医療は

### 充足していない



西村 健 議員

**答** 圏域、全県の課題として取り組む

**質問** 9月定例会において、県外の病院を退院した方が浜田市でリハビリを受け入れる医療機関が見つからず、苦労された事例に関し質問があつたが、リハビリ医療の需給状況と課題認識を問う。

**答** 在宅リハビリについては通所が4施設、訪問が1施設あるが、需給に関するデータはない。リハビリを担う人材と事業所の増が必要だが思うように進まない。リハビリを含む専門医や医療・介護従事者の確保を県に要望している。

**質問** 平成22年度に経営改善計画を策定したりハビリテーションカレッジ島根のその後の状況について問う。

**答** 学校では入学生の確保に努力され、21年度の24人を底に年々増え、

来年度は68人の入学生を見込んでいます。今後は入学生の維持・確保が課題と考えています。



## 人口減少への対応は！



原田 義則 議員

**答** 定住対策を検証し実効性のある対策を検討

**質問** 人口減少に向けてどのような対策をとっているのか。特にU・Iターン者に対する対策について問う。

**答** 定住対策課に定住相談員を一名配置し住居や雇用などの相談をワンストップサービスで対応しているほか、大都市圏で開催される定住フェアでの相談対応、はまだ特別市民制度会員や各市人会会員に対して定住支援パンフレットを配布し定住支援に努めている。また受け入れにあたっては、職業紹介が必要であるため、ふるさと島根定住財団が実施している無料職業紹介や産業政策課内にある無料職業紹介所への紹介を行っている。さらに空家バンク制度とともに空き家改修補助金、ケーブルテレビ加

入料補金等の制度周知を行っている。

**質問** 自治区ごとの定住目標が必要ではないかと思うが、その所見について問う。

**答** 人口減少を最小限に食い止めるため各自治区が定住対策事業を展開しているが各自治区の実情に即した定住目標を設定することは非常に重要と考える。

**その他の質問** ○主要地方道田所国府線の改良計画について

○主要地方道田所国府線の改良計画について



▲東京定住フェアでの様子

## 火葬場整備計画は

### 市民の理解が大切



田畑 敬二 議員

**答** 全体計画は合意を得る努力をする

**質問** 浜田火葬場整備計画（案）は、旭火葬場の

大規模改修が必要な時期まで存続させ将来的には、三隅火葬場1施設で1炉増設することが望ましいとされているが、浜田火葬場、弥栄火葬場の廃止時期を聞く。

**答** 浜田火葬場及び弥栄火葬場については、平成30年3月末で廃止予定にしている。

**質問** 計画されている該当地区のまちづくり委員会で、なぜ説明しなかったのか問う。

**答** 地域協議会、自治会会長で、意向を確認し説明した。今後、要請があれば、地区まちづくり委員会等に説明していく。

**質問** 三隅自治区、白砂まちづくり委員会では、全体計画を示せと言う意見があったが、どのような



▲増設予定の三隅火葬場

な認識か問う。

**答** 来年1月には浜田火葬場整備計画方針を決定し、決定後も地域協議会や自治会会長会議等で説明し、合意が得られるように努力する。三隅火葬場の全体計画は地元自治会の意見が反映できるよう、周辺の環境整備を検討していく。

**その他の質問**

○小規模・高齢化集落の現地調査について

○教育支援センターやまびこ学級について

## 米軍機による模擬爆撃

### 訓練の即時中止要請を



江角 敏和 議員

**答** 新たな会発足で活動を強化する

**質問** 米軍機による訓練は問題だが、中でも低空飛行で施設（住民や園児等）を標的にした模擬爆撃訓練は、強く即時中止を要請すべきではないか。

**答** これまでも岩国基地等へ要請文を送付しているが、今年度中に首長レベルの新たな会を発足させ、一層の連携強化や県と一緒にした要請行動等の取組を強化したい。

**質問** 関関係者から標的にされた恐怖感を抱いたとのこと話を伺った。また旭支所では、低空飛行訓練の映像と騒音を収録されている。これを執行部や職員等が見る機会を設け、実態や認識を共有すべきではないか。

**答** 庁内LAN等で見られるようにしているが、さらに検討していく。

**質問** 旭支所以外への騒音測定器の設置計画を問う。また、模擬爆撃訓練と思われる場合は、騒音量に関係無く中止を要請すべきではないか。

**答** 県費により、金城と弥栄支所へ設置予定である。要請のあり方については今後検討したい。

**その他の質問**

○来年度の当初予算編成

○まちづくり基本条例

○自治区制度の検証

○焦点を充てたまちづくりと機構改革

○子どもたちの議会傍聴



▲子ども園での聞き取り調査

## ドクターヘリ運航に

### 支障はないのか



三浦 一雄 議員

**答** 現段階では危険性の認識は無い

**質問** 11月21日、中国地方知事会では5県のドクターヘリの県境を越えた、広域連携相互乗り入れする基本連携協定を平成25年1月に結び、災害時の傷病者搬送などで協力するために合意されたと報じられ、準備が整った県同士では3月中にも相互乗り入れを始めることがあった。

浜田医療センターには、平成25年度中にヘリポート完成と聞くが、今後運航開始されるドクターヘリ・防災ヘリ・県警ヘリ・海上ヘリの運航高度に対し、現在問題視されている浜田市周辺上空を米軍機による低空飛行訓練高度や運航に、重大な危険性を指摘しても良いのではないかと。空の安全を守るため、ヘリ操縦士が安心して操縦でき



▲12/10(月)下府町ヘリポートでの離陸時

るよう、在日米軍・日本政府に即時低空飛行訓練中止行動をすべきではないか。

**答** 中国知事会において、米軍機による飛行訓練の実態、飛行ルートや頻度など詳細な訓練計画と安全確保策等の内容を求め、共同アピール採択された。浜田市として引き続き、関係市町と一緒に国に中止を要請を行う。



## 耕作放棄地拡大による

### 地域衰退への対策は



道下 文男 議員

**答** 用途地域も含め、できる限りの施策を図る

**質問** 国県が多種多様の農業振興策を実施しているが、耕作放棄地拡大に歯止めがきかず、農業や住環境に多大な被害を及ぼし、地域衰退に拍車をかけている。市の認識と対策は。

**答** 市内全域において耕作放棄地が拡大しており、国県事業などを活用して農地の集積や有効利用促進に取り組んでいる。今後、新たな耕作放棄地が生じないよう、さらなる対策強化に取り組む。

**質問** 市には、都市計画区域内での平坦で豊かな農地があるが、用途指定によって国の農振補助事業が使えず、耕作放棄地の拡大が顕著である。その上、昨今の経済情勢で都市開発も後退するのみであり、用地の虫食い状態化となり土地の有効利



▲都市計画区域内の貴重な農地

用に極めて疑義を感じている。市の考えは。

**答** 経済が停滞する中、幅広い視点で都市計画を進めている。用途地

**その他の質問**

○市の将来を担う浜田っ子の生きる力を育む施策について

○日本海側拠点港および臨港道路認定での浜田港振興策について

## 浜田市街地

### 下水道計画は？



新田 勝己 議員

**答** 平成30年に処理場、管渠工事に着手を目標

**質問** 浜田市街地下水道整備スケジュールの概要を問う。

**答** 平成8年の「公共下水道基本計画」の見直しを25年度に行つた。

その後、都市計画・事業認可や用地取得を行い、おおむね30年度に処理場、管渠工事の着手を目標にしている。

**質問** 処理区域の分割は、用地確保において市街地に隣接が出てくる。処理場建設の考え方は。

**答** 分散型処理方式により市街地に隣接する事を想定している。処理場の負のイメージを払拭す

るために、環境問題に優れた施設整備を地域住民に説明、理解を得たい。

**質問** 市街地下水道の計画達成時の市の整備普及率について問う。

**答** 現在、全体の整備

## 浜田市所有

### 美術品の現状は



大谷 弘幸 議員

**答** 施設全般の台帳整理を行い保存公開に努める

**質問** 寄贈を受けた芸術品の保管保存を問う。

**答** 寄贈された方の意向と種別により、各施設で保管しているが、調査及び台帳の作成については、今後一括して整理し、保存方法についても点検

チェックの必要性は認識しており、今後検討する。

**質問** 旧浜田市民会館保存芸術品の現状を問う。

**答** 橋本明治画伯の「演奏」、清水光夢画伯の「無限」、寺戸恒晴画伯の「石見神楽蛇舞」の絵画は、

こども美術館へ移管。倭國一博士の銅像、彫刻「仰（あおぐ）」は市役所前へ移設。他の記録は現存していない。

**質問** 郷土資料館との連携について問う。

**答** 郷土資料館は近代以前の作品や資料を主体として保管している。連

携については、展覧会等を行う際、美術品を借り受けるなど相互連携協力を行っている。

**質問** 美術品の市民鑑賞の機会を問う。

**答** 石正美術館、こども美術館で展示公開している。また特別企画展等を行い展示公開をしている。長浜公民館で実施さ

れた郷土資料館所有の長浜人形展示会の企画等については積極的に取り組む。

**その他の質問**

○地域安全の取組は



▲里帰りした長浜人形



## 乳幼児・児童医療費

### 助成制度の年齢拡充を！



答 小学6年生まで

笹田 卓 議員

拡充をしたい

質問 島根県は8市11町

村の19自治体があり、中学卒業まで何らかの医療費助成制度を行っているのは8市町村ある。浜田市と同じ、県制度の医療制度をそのまま拡充しているのは、大田市、飯南町の2市町で、無料化を行っているのは、奥出雲町、美郷町、邑南町、津和野町、吉賀町、西ノ島町の6町ある。

今年度、大田市の児童医療費助成事業の予算額2400万円を大田市の人口で割ると、1人あたり約648円で賄っていることになる。浜田市の児童医療費助成事業の予算額2286万円を同様に割ると、1人あたり約375円で賄っていることになる。大田市と同じ様に1人当たり648円で賄うとすると、約

## どうする災害時協定と夢ある幼稚園政策は！



答 貴重な提案と受け止め検討する

牛尾 昭 議員

質問 先般のBB大鍋イベントでは、職員・議員が連携し、気仙沼市応援バザーを開催した。さらには職員の長期派遣もあり、根拠となる災害時応援協定締結が必要では。

答 来春、前市長夫妻がお礼に見える予定であり、今年中に打診したい。

質問 原井幼稚園閉園延期の決定は、大いに評価したい。統合新園も含めた今後の予定と検討委の立ち上げについて問う。

答 まだ予定にない。

質問 今後の新園建設は百年使用できるまちづくりの視点が必要で、雲南市の幼児期からのキャリア教育方式を併せて導入してはどうか問う。

答 雲南市モデルの導入は、地理的に難しいが幼児期のキャリア教育は重要なので導入を図る。



その他の質問

問 未解決「平岡さん事件」については風化が避けられないが、都さん縁のオリーブの丘を設置しては。

答 貴重な提言であり是非、検討したい。

問 金融円滑化法終了後は浜田市の85%の企業が影響を受けるが、その認識と対策はどうか。

答 非常に憂慮すべき問題と認識している。今後は、貸し渋りが無いよう指導していきたい。

## 弥栄火葬場の有効利用を！



答 適正規模、適正配置の観点からやむを得ない

美浦 美樹 議員

質問 火葬場整備計画(案)では、将来必要な火葬炉は3炉とされ現在の三隅火葬場に1炉増設して拠点施設として整備をし、他の施設は廃止する。

しかし、地理的条件や施設の有効利用の観点から、旭火葬場を大規模修繕が必要となるまで存続させるとしている。

弥栄火葬場は、まだまだ使える施設で廃止するには、もったいない。

大規模修繕が必要となるまで利用するべきと思うがどうか。

答 本市の火葬場施設は4力所、炉数は7基で維持管理費の増大につながっており浜田、弥栄の火葬場は廃止する。

もったいないとの指摘であるが、公共施設の適正規模、適正配置の観点からやむを得ない。



▲まだまだ使える弥栄火葬場

答 三隅火葬場を拠点施設として整備することとしており、年間810件の利用が見込まれ、三隅火葬場2炉では、市民のニーズにこたえられない。

質問 現在の火葬炉は三隅2炉、旭1炉で弥栄の1炉を残せば、三隅1炉の増設は必要ないと思われる。使える施設を廃棄してまでの増設費、3億2千万円余りは、大きな無駄ではないか。理解できない。

## 児童・生徒の安全を守る

### 環境をととのえよ



**答** 優先順位をつけ危険な箇所から改善に取組む

三浦 美穂 議員

**質問** 児童・生徒の通学路の安全を確保するため危険箇所の総点検をされたが、当市の通学途中の事故実態と総点検の状況を問う。

**答** 平成21年度からこれまでで6件で死亡など重大事故ではない。交通安全対策について104力所の要望があった。

**質問** 危険が指摘された箇所の改善の取組が遅いなぜか問う。

**答** 今年度中に12力所実施する。引き続き優先順位をつけて、危険な箇所から改善に取組む。

**質問** 学校施設の建物本体の耐震化は24年度中に完了の見込みだが、対策が遅れているのが、天井部分・照明力バー・窓ガラスなどの非構造部材が崩落する危険防止対策である。文部科学省より点



▲耐震化工事が完了した石見小学校舎

検未実施がないよう通知があったが、取組について問う。

**答** 各学校に点検の依頼をしたが、早急に改修を必要とするものはない。今後は「天井脱落対策に係る技術基準」の策定を受け、天井等の補強対策について建設部と協議を進める。

### その他の質問

○介護保険の福祉用具購入費や住宅改修費の受領委任払い制度の導入について

## 市民の意見を重視した

### 火葬場計画を望む



**答** 市民意見を踏まえ平成25年1月末に方針決定

平石 誠 議員

**質問** 三隅火葬場に集約された場合、遠方からの負担が増加するが、周辺自治体の施設利用も含めどう対処するのか問う。

**答** 地域によつては新たな負担が生じると認識しているが、平成28年度開通予定の浜田三隅道路を利用すれば移動時間の負担は軽減可能と考える。費用増嵩分に対する補助は難しい。周辺自治体の施設利用については、差額分の補助を検討する。

**質問** 火葬場への移動に高速道路を利用するという考えは人情的にどうかと思う。こういった問題をクリアするためにも、浜田市エリアのほぼ中心地である後野町の「旧ごみ処理場」跡地に新設する考えはないか問う。

**答** 「旧ごみ処理場」は解体に約3億円かかる



▲廃炉予定の浜田火葬場

ため、国の交付金を活用して解体予定である。解体後に火葬場を設置する場合は交付金適用とならず、費用面で非常に厳しいため「旧ごみ処理場」跡地での新設はできない。

### その他の質問

**問** 学力向上について協調学習の導入やICTの活用による効果と今後の取組を問う。

**答** 児童・生徒の学習意欲や思考力が向上してきた。引き続き情報収集や資料提供等で支援する。

## 人口減少を視野に入れた

### 公共施設再配置は



**答** 「公共施設見直し方針」を中心に検討する

川神 裕司 議員

**質問** 合併に伴う重複施設の解消、超少子高齢化という将来人口動態がもたらす影響を考えた時、今後の公共施設の再配置計画は極めて重要と考えるが考え方を聞きたい。

**答** 先般、浜田市火葬場整備計画（案）を示したが、計画策定に当たっては人口推計を踏まえたものとした。また、配置計画策定に当たっては、費用対効果のみで再配置計画の判断を行うのではなく、地域の実情を考慮する必要があると考える。

### その他の質問

**質問** 最近示された様々な公共施設統廃合計画に対して残念なことに見直しが続いている。計画策定途中に、様々な市民の意見が反映されていない結果だと考えるが今後の計画策定における民意の反映について聞きたい。

**その他の質問**  
○今後の人口減少予測と中期財政計画への影響  
○水道料金値上げ抑制に対する取組





## 衣食が足りたら他人の

為に尽くせ！ 日馬富士



**答** その気持ちを大切に  
子どもたちに伝える

西田 清久 議員

**質問** 浜田市に住む高校生が卒業後、進学、就職で市外、県外に出て行く割合を問う。

**答弁** 過去3カ年の平均では、進学で市外が約91%、県外が約78%、就職では、市外が約45%、県外が約36%。近年、市内への就職割合が年々高くなっている。

**質問** 浜田市に対して、ふるさと納税や高額寄付が寄せられている。それはふるさとへの愛郷心や頑張る市民への応援と受け取れる。子どもたちの心の育成も重要と考えるが、ふるさと教育の現状と課題について問う。

**答弁** 浜田の豊かな自然や伝統文化に小さい時から触れたり、体験したりすることは、ふるさと浜田が好きになり、大切にしていこうとする心を育



▲自然豊かなふるさと浜田

てるためにも大切なこと。各学校では地域の「ひと・もの・こと」を活用したり、各中学校区にある学校支援地域本部事業も活用したりして、公民館とも連携を図りながら各地域の実態に応じたふるさと教育を展開している。

### その他の質問

○諏訪市のキャリア教育「相手意識に立つものづくり科」について

○浜田市のキャリア教育の成果と課題について

## 学校司書の待遇改善を

図るべきではないか！



**答** 今後検討していく！

佐々木豊治 議員

**質問** 学校司書の報酬は、近隣の他市に習い増額すべきではないか。

**答弁** 浜田市の基準により決定しており、難しいものと考えますが検討していく。

**質問** 学校司書が市立図書館などの図書の受け渡し業務などで、公務で使う自家用車について、公用車の扱いになっているのか問う。

**答弁** 図書の受け渡し業務については、原則的に司書教諭や図書館担当教員が行うものと考えている。学校司書の自家用車公務使用については、万一、事故が起きると補償の問題が発生するため、実態を調査し、適正な対応をしていく。

**質問** 教育委員会に専任の担当者を配置すべきではないか問う。

**答弁** 現体制のなかで、連絡調整機能の充実に努めていき、配置についても今後検討していく。

**質問** 教育委員会の管理のもと、各学校への資料の配送システムができないか問う。

**答弁** 浜田図書館から各自治区の分館への配送は実施している。各学校への配送は、新図書館完成に伴い検討していく。

### その他の質問

○社会資本の再構築  
○地域資源を守る取組



▲学校図書館での調べ学習

## 図書館は直営で運営すべき



**答** 司書の専門性など  
直営運営が望ましい

芦谷 英夫 議員

**質問** 図書館を直営で行う積極的理由を問う。

**答弁** 司書の専門性の蓄積や資料収集など継続的、一貫的運営が必要であり、管理者が短期間で代わる指定管理者制度は望ましい運営形態ではない。他の図書館や関係機関などとの密接な連携協力が不可欠であり、直営での運営が望ましい。

**質問** 市職員の専門職の状況と養成の考えを問う。

**答弁** 専門職は医師、介護支援専門員、図書館司書、社会福祉士など約10職種で、正規職員61人、非正規職員38人で非正規職員の占める割合は38.3%、専門研修の参加など職員の資質向上に努め、生活保護就労支援員など嘱託職員として配置し、専門業務支援に努めたい。

**質問** 地域福祉であるサ



▲増やしたいサロン活動

ロン活動、高齢者クラブなどの活動状況と増減の要因を問う。

**答弁** サロン活動の増加はコーディネートタの配置と設立支援の成果、高齢者クラブの減少は高齢化、価値観の多様化、新規加入の減少である。

**質問** まちづくり交付金での地域福祉支援を問う。  
**答弁** 地域福祉の人材育成、自治会活動、市民活動の参加などに取組めるようにしたい。

縁が結ぶ「始まりの物語」

活かせ地域資源！



答 相手からの縁を、今後のまちづくりに活かす

布施 賢司 議員

質問 市観光ボランティアガイドの会の方々が、浜田藩のルーツを探る中で、浜田藩主が三重県松阪の本居宣長に贈った「駅鈴」で繋がっていることが最近分かった。松阪市ではシンボルとしてモニュメントなど、色んな形で情報発信しており、現在でも多くの市民から親しまれている。このたび、市長一行が表敬訪問されましたが、今後どう交流していくのか問う。

回答 松阪市長と面談し要請があった毎年4月に行なわれる「宣長まつり」に、古事記と関係が深い石見神楽の上演を考えている。また、松阪のブランド力を持つまちをはじめとする、全国21の市町で取組まれている「地域ブランド連携協議会」に参加し全国発信していく。

さらにこの縁を大切にする。

質問 長浜台地一体に分布している「黄長石霞石玄武岩」は世界でも貴重な岩石で、国立科学博物館に展示されると伺った。今回の縁をどう活かす情報発信していくのか問う。

回答 調査・研究し3年後には展示すると聞いている。オンリーワンの地質遺産で関係機関や関係者と相談し、広く情報発信できる方策を検討する。

その他の質問

○映画ロケ地が結んだ縁



▲世界でも貴重な黄長石霞石玄武岩（おうちょうせきかすみいしげんぶがん）

## 平成23年度浜田市歳入歳出決算を認定

決算特別委員会では、予算が適正かつ効果的に執行されたかどうか、9月18～21日の4日間で書類及び計算書等を調査し、10月2～9日までの間で4日間委員会を開催し、質問の事前通告制を取り入れ、87件の質疑を行いました。その結果、次の5つの会計について付帯意見を付し、全会一致で認定しました。

### 一般会計

- 1 全市一体感のある自治区事業の構築について  
地域振興基金を活用した定住対策事業で、公平・平等の原則から、自治区間格差が生じない配慮と全市一体の検討をされたい。
- 2 地域活力を担う人材の確保と育成について  
(1)市役所の体制づくり (2)医療介護分野 (3)子育て分野 (4)農林水産業分野
- 3 浜田市の未来を担う子どものための学校教育の充実について  
いじめ問題に対する予防策のさらなる充実を図るとともに、発生した場合の体制を構築されたい。
- 4 庁内の連携体制づくりと効率的な行政運営について  
住宅建築関連施策が、事業目的や所管の違いで相互の連携調整が図られず執行されている。縦割り行政の弊害をなくし、庁内の連携体制の構築と、県産材、石州瓦等地産地消を進められたい。

### 公共下水道事業会計、農業集落排水事業会計、漁業集落排水事業会計

接続率の向上は健全運営に不可欠であり接続率向上に努められたい。

### 水道事業会計

有収率は水道事業経営に直結する問題である。ここ数年下降傾向にあり漏水が原因と考えられ、防止策に万全を期されたい。



あとがき

今回の議員定数問題では住民説明会等を開催し、多くの時間と労力を費やししながら議論を重ね、条例を制定してきました。住民の皆さんの声を市政に届けてほしいという願いを真摯に受け止め、議会のあり方について再認識したところで、行財政改革といった観点からのみ論じるのではなく、住民の皆さんの多様なニーズを市政に反映させることを念頭に置き、浜田市民の安全安心を確保した「いきいきとした社会」を構築するため、未来へつなげる実践活動が大切であると、改めて考えさせられました。（記 三浦保法）

### 編集委員

|        |      |
|--------|------|
| 田畑 敬二  | 委員長  |
| 岡本 正友  | 副委員長 |
| 笹田 卓   | 委員   |
| 布施 賢司  | 委員   |
| 佐々木 豊治 | 委員   |
| 西田 清久  | 委員   |
| 三浦 保法  | 委員   |
| 山田 義喜  | 委員   |
| 牛尾 昭   | 委員   |
| 美浦 美樹  | 委員   |

【議長なんでもメール】

議長や市議会に対するご意見・ご要望・ご提言などお気軽にお寄せください。必ず議長自ら回答させていただきます。（住所・氏名を明記の上、送信ください）  
E-mailアドレス：chairman@city.hamada.shimane.jp